



Biz Com

<http://www.rikkyo.ac.jp/sindaigakuin/bizsite/graduate/bizcom.html>

2017年夏号

— さらなる飛躍のために —

2017
VOL.55

CONTENTS

01 巻頭インタビュー 田中 道昭 教授

02 新任教員の紹介

03 16期生入学式・JBCC2017

04 2016年度修了生 優秀論文紹介

06 研究会紹介・留学生だより

08 修了生インタビュー



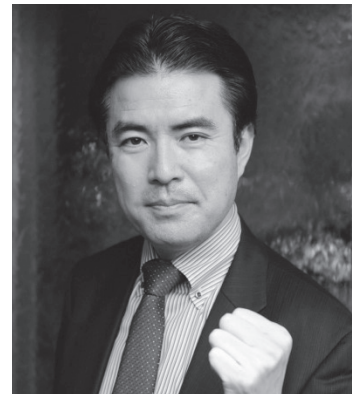
立教大学ビジネスデザイン研究科 教授

田中 道昭

Michiaki Tanaka

「真のゼネラリスト育成を目指して」

夏休みを迎え、1年生は来年の卒論を徐々に考え、2年生は修了研究を本格化させる時期になりました。今回は、TVを始めとしたメディアに数多く出演されている戦略論とマーケティングが専門の田中教授にお伺いしました。



— 田中先生の自己紹介をお願いします。

ストラテジー&マーケティングが主な専門であり、RBSではコーポレート・マーケティング、サービス・マーケティングの1と2、クリティカル・シンキング、メディカル・ビジネス論、介護ビジネス論の6科目を担当しています。日本・米国・欧州・アジアでのビジネス経験、金融(銀行・証券)・事業法人(メーカーや小売)・コンサルティングでの実務経験、小売、流通、製造業、サービス業、医療・介護、金融、証券、保険等多業種に対するコンサルティング経験、多くの上場オーナー企業経営者への経営参謀役としての経験などから、RBSの理念である「真のゼネラリスト育成」を行っていくことに強い使命感をもってしています。

— どのような思いで、大学院教育に力をいれていますか。

真のゼネラリスト育成のため、分析力×洞察力×構想力を高め、問題解決能力を高めていくだけではなく、自ら合理性の高い問題設定や課題設定を行い、自らそれらの解決策を見出すことができるようになることを目指した大学院教育に力をいれています。さらには、単に知識やスキルを身につけるだけではなく、問題意識や志を高めていってほしいという思いやこだわりをもって授業を行っています。そのためにも、レクチャー×ケーススタディーなどに加えて、ロープレ演習やチームワーク演習なども多用し、実践的なクラス運営に強いこだわりをもってしています。

— 最近関心のある中で、RBSの学生に伝えたいことは。

現在、ニューズウィーク日本版オンライン、プレジデントオンライン、東洋経済オンライン等で定期的に執筆を行っています。特にニューズウィークでは、「企業と組織の戦略分析」というテーマで連載していますが、企業分析だけではなく、イスラエルやスイスなど国家の競争戦略の分析も行っています。また「真のゼネラリスト」を育成していくためには、自分自身が、ビジネス・経済・政治・社会・技術などのインプットを愚直に続けることが重要だと思っています。是非とも、そのような視点から組織や人を見る経験を積んでいくことをお勧めします。

— RBSの学生の今後の成長に期待することを教えてください。

今後の自分自身の成長に当たって、是非とも目標や夢、ビジョンなどをもってほしいと期待しています。目標をもつ人は強い。目標をもつことで信念や自信も深まってきます。目標をもつことが自己変革にもつながります。目標をもつことで自ずとどのようなスキルや知識を学ぶべきかが明らかになります。そして出来れば、自身の仕事を通じてどのような社会的・文化的問題と向き合っていくのか、どのような分野で周りの人や社会に貢献していきたいのかを明確にすることができれば、それが自己成長への大きな原動力になると思います。私自身も常に目標と向き合いながら学生と一緒に学んでいくことで、学生に目標をもつことの素晴らしさを伝えていきたいと思っています。

— 講義では、何を念頭において、授業されているか。(本講義を通して、学びとって欲しいことなど)

秋学期に開講しているメディカル・ビジネス論と介護ビジネス論については、MBAの応用科目として、これらの業種に従事する学生だけではなく、従事していない一般の学生に対しても、MBAの集大成的な授業になるように強いこだわりをもってクラス運営を行っています。具体的には、MBAで学ぶべき経営学領域を医療・介護ビジネスに応用、ミッション・ビジョン・バリューや戦略から、リーダーシップやマネジメント等に至るまで一貫通貫で医療・介護ビジネスに応用していくクラス展開を行っています。PEST分析、5F分析、SWOT分析、3C分析、STP分析等のフレームワークを医療・介護ビジネスに活用していくことでフレームワークを使いこなせるようになることも企図し、シンプルなケースからスタートして最後には実際の医療機関のケースも解けるように医療介護の専門知識などを段階的に挿入していくことでクラス運営を実行しています。

取材記事 / 15期生 富岡 哲也、16期生 川村 節大